

旭川医療センター

独立行政法人国立病院機構

内科系症例が豊富で、風通しのよい病院



■病院の概要

令和5年12月1日現在

医師数：42人
 病床数：310床（一般290床、結核20床）
 外来患者数：299人/日（令和4年度実績）
 入院患者数：217人/日（令和4年度実績）
 待遇：1年目520千円/月 賞与なし
 2年目550千円/月 賞与なし

指導医数 18 人	研修医数 6 人	救急搬送患者数 995 人 (令和4年度実績)	手術件数 627 件 (令和4年度実績)
---------------------	--------------------	--------------------------------------	-----------------------------------

■初期臨床研修プログラムの一例

開業医の先生方との月1回の症例報告会での交流とディスカッション、各診療科の協力のなかで総合的なプライマリケアの研修が容易であるとともに、輪番制の二次救急（3回/月）に参加し、救急を含めた多様な経験をすることができます。当院では内科（呼吸器内科、脳神経内科、消化器内科）、外科（外科、呼吸器外科）をまわります。その他は希望に合わせて施設を選択しますが、その中でも初期研修に定評のある国立病院機構東京医療センターでの研修（救急8週、小児科4週、産婦人科4週）や北海道内の機構施設などを選択できます。

1年目	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
	内科						外科	救急・麻酔		小児科	自由選択			
2年目	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
	産婦人科	精神科	地域医療	自由選択										

4月

※年度最低26週は当院での研修になります。

3月

■研修責任者からのメッセージ

当院では、“Postgraduate medical education of the resident, by the resident, for the resident”を実践するため、多くの指導医により構築された研修体制の中で、研修医は主治医として診断から治療まで一連の研修を自ら考え実践しています。さらに、当院の特徴である多彩な症例や豊富な検査を通して、経験できる研修・学べる研修を目指して、多くの手技と知識を経験してもらうよう取り組んでいます。また、東京医療センターなどへの国内留学も積極的に取り入れ、より高度な医療を習得できるよう工夫しています。研修医の皆さん自身がプログラムを作成できる研修システムです。是非、当院の研修医の研修医による研修医のための初期研修で学んでみませんか。



臨床教育研修部長
黒田 健司

■研修医からのメッセージ

当院での研修は、内科症例を多く経験できるのが特徴です。政策医療の担い手でもあり、結核や筋ジストロフィーなど他院では珍しい疾患を経験することも可能です。研修医は入院患者さんの主治医として診療にあたり、治療方針を考えていきます。わからないことがあればすぐに指導医の先生に相談することができ、また、研修医の数が多くないので色々な手技や症例を経験する機会に恵まれています。当院で研修できる科は多くはありませんが、足りない科は道内外の病院で研修することができます。他の病院の研修医とも交流することができ、良い刺激になると思います。ローテーションの自由度は高く、自分の将来にあった研修を行うことが可能です。

2020年に外来棟が新しくなり、研修医室や当直室もとても快適です。他職種の方とも距離が近く、チーム医療を行っていく上で相談しやすい環境です。少しでも興味のある方は、ぜひ一度病院見学に来てみてください。



研修医
二木 希



■連絡先

ADDRESS
〒070-8644 旭川市花咲町7丁目4048番地
PHONE
0166-51-3161
担当部署
国立病院機構旭川医療センター 管理課 庶務班長
E-MAIL
103-syomu-h@mail.hosp.go.jp
URL
https://asahikawa.hosp.go.jp/

■専門研修プログラム（基：基幹施設、連：連携施設）

基	連	領域	基	連	領域	基	連	領域
●	●	内科			眼科			臨床検査
		小児科			耳鼻咽喉科			救急科
		皮膚科			泌尿器科			形成外科
		精神科			脳神経外科			リハビリテーション科
	●	外科		●	放射線科			総合診療
		整形外科		●	麻酔科※			
		産婦人科		●	病理			

注 関連施設等の場合は、各領域名の後に「※」を付しています。